

名古屋市建築協定連絡協議会

協定ニュースレター

平成22年3月31日発行：第31号

平成21年度名古屋市建築協定連絡協議会「全地区委員長会議」を開催

平成22年3月1日（月）、名古屋市役所西庁舎12階第18会議室において、「全地区委員長会議」を開催しました。連絡協議会の全会員45地区のうち、28地区（36名）の参加がありました。

平成21年度に新たに締結された4地区及び更新された2地区の紹介から始まり、全体会議として、平成21年度の連絡協議会の活動総括を報告し、続いて、平成22年度の連絡協議会活動の方向性について議論を行いました。

会議の風景

《地区紹介》

- ・ 鳴子町5丁目東地区
- ・ 香流橋一丁目地域
- ・ 萩ヶ丘西地区
- ・ 鳴子町4丁目（4組）・5丁目（5・6組）区域
- ・ 徳川一丁目前ノ町地区
- ・ 小幡稻荷前団地

の各地区の代表者から、締結理由、主な協定内容などをお話し頂きました。

《全体会議》

21年度の協議会の活動としては、会員間の情報交換・啓発活動の他に、指定確認検査機関・不動産団体などへのPR活動、名古屋市長・県建築担当局長との面談と普及への協力依頼、新規締結地区の協定立ち上げの協力、建築紛争への協力など、活動の報告がありました。平成22年度の活動としては、従来の活動に加えて、一般市民への普及・啓蒙活動を行うこと、そして、まちづくり手法などアンケート調査で要望が多かったテーマについて、勉強会・講演会を行うことが提案されました。

《その他》

協定地区の運営委員会の運営について、情報交換を行いました。運営委員会の開催、事前協議とトラブル対応、協定内容の判断基準、更新時の協定内容見直し、隣接地の協定加入の勧誘活動など、各地区の具体的な事例紹介をもとに、議論を深めました。一部地区の紹介となりましたが、有意義な議論となったことと思います。



お知らせ

勉強会講師の兼田敏之名古屋工業大学教授の研究室所属学生による名古屋市における建築協定の研究概要を添付します。ご覧ください。

—今後の予定—

平成22年5月29日
平成22年度総会

平成22年7月頃
機関紙発行